



【社会】

＜学習内容＞「大切な水をくり返し使うくふう」「水の流れをまとめる」

◆教科書 68～71 ページや地図帳、持っている資料などをもとに、水の流れについて調べ、取組シートやノートに取り組もう。

- (1) 教科書 46～47 ページや教科書 74～75 ページを見て、使われた水のゆくえについて、下の（ ）に言葉を入れよう。

使われた水は、下水しり場で（ ）にされ、（ ）などに流されます。そして、海に流れこんだ水は、やがて雨になってまた使われています。

- (2) 下水しり場でしりされた水は、どのようなことに使われていますか。
※飲み水など、人にえいきょうがありそうな使われ方以外のことに使われているよ。
- (3) 下の言葉を使って水の流れをまとめよう。

ダム じょう水場 水道管 下水しり場

※教科書 48～49 ページの絵をさんこうにするとよいですよ。

◆九州地方にある県の名前と位置について、白地図を使ってまとめましょう。

- (1) 地図帳 116 ページを見て、九州地方にある 7 つの県の名前を調べ、九州地方の白地図に県名を書きましょう。
- (2) 九州地方にある 7 つの県の位置をそれぞれ指でさしながら、県名を声に出して言ってみよう。何も見ないで、すべて言えるようになったらすばらしいです。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・下水処理場（札幌市は水再生プラザ）がなかったらどうなるのかを想像することで、下水処理場の働きや必要性について、自分に身近なこととして考えられるようになります。
- ・答えることができた県名が増えたなどの頑張りを認め、お子さんが継続して興味や意欲をもてるよう声かけをお願いします。

※地図帳 P115 に、QR コードがついています。閲覧が可能であれば、こちらも御活用ください。

白地図（九州地方）^{ちほう} 名前

